

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 29 年 2 月 22 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490100603		
法人名	森信建設 株式会社		
事業所名	グループホームなでしこ温品		
所在地	広島市東区温品5丁目7-1 (電話) 082-280-3596		
自己評価作成日	平成29年1月5日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2016_022_kani=true&JigyosyoCd=3490100603-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成29年2月15日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

自然に囲まれ静かな地域で四季を感じて頂ける環境です。天気のいい日は散歩して頂いています。地域の方々から声をかけてもらい、時には庭の花を持参してくださる方もおられます。町内会との連携で、防災時の避難訓練に参加したり、当施設の避難訓練には近隣の皆様に見守り等のお願いをしています。隣接の保育園との交流をはかり、園の行事の見学等行っております。また、当施設は一時避難場所の指定を受けており、災害時の為の食料や水を備蓄しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

車の往来が激しい県道から、少し入った所に立地する当事業所は、静かで住みやすい環境にある。この日は裏庭に有る大きな梅の木が花を付けていた。運営母体の代表者は、近い場所が土砂災害危険地域の為、建物にもコンクリートを入れ、土砂が入って来ないような安全な造りに力を入れている。更には、災害対策として近隣と協力関係を築く努力がなされている。事業所は日常のヒヤリハットや事故報告も隠さず、運営推進会議で家族や地域住民に報告し、アドバイスを貰いながら支援を行っている。管理者は過去の経験を活かしながら、地域と良好に繋がっており、隣の保育園の園児達やその父兄とも顔見知りになり、利用者にとって暮らしやすい環境を作る事に努力している。職員も管理者と共に、日々サービスの向上に取り組んでいる。

自己評価外部評価状況

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	毎日の申し送りの最後に、職員全員で運営理念を唱和し、管理者、職員とも共有、実践に努めている。	管理者、職員は「ゆったり、のんびり、ほがらかに」の運営理念の基、申し送り後に唱和しながら、理念通りに行う事の大切さを感じ、更に職員は利用者の鏡であることを自覚し、実践が困難な場合は、管理者がバックアップしながら、実践につなげるよう努力がなされている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	毎日の散歩を通し、地域の方と挨拶や会話ができる関係を作っている。町内のお祭りや行事に出来るだけ参加し、交流を行っている。	自治会への入会の誘いを受け加入している。事業所は町の端に位置している為、二つの地域と交流がある。隣には幼稚園があり、事業所の駐車場を通して交流が始まり、出向いたり来所頂いたりとして親しくしている。又、管理者は自治会の会議に出席して、地域と交流している。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	2階の会議室を地域交流室として位置付け、要望があれば使用できるよう開放している。入居者様も参加可能であれば、参加し交流している。地域の一時避難場所に指定されており、万一の場合は町内、保育園等からの一時避難を引き受ける事としている。			
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	継続して入居者様の家族様や町内役員の方、地域包括支援センターの職員の方、訪問看護師と意見交換、情報交換を行っている。	会議の内容は報告のみに留まらず、日常の支援・防災・医療等多岐に亘り、慎重に検討が行われている。家族代表は勿論、数人の家族も毎回出席し、意見交換が行われている。次回より、一時取り止めていた欠席家族への議事録の送付を開始する等、更なる取組みが予定されている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	運営推進会議開催の時は、地域包括センター、介護保険課へ、開催と出席をお願いしている。会議の報告は、その都度行っている。	市町の担当者には、運営推進会議の報告書を、その都度送付しており、地域包括支援センターは運営推進会議に毎回出席している。事業所は地域の災害時の一時避難場所になっている為、今後は更に市町と防災の話し合いを重ねる等、更なる協力関係を築く努力をしている。		

自己評価外部評価状況

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束のマニュアルを作成し、勉強会を開いたり、日常の申し送り等で職員の意識を徹底している。玄関は防犯上、夜間のみ施錠している。</p>	<p>日中は、カギを掛けなくて、自由に出入りできる状況である。夜間は、必要な利用者には家族への説明を行い、センサーを使用している。職員は運営規定に定めている身体拘束を行わない支援を理解し、遵守するよう努めている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>勉強会を実施し、職員の意識を徹底している。また、入浴時に入居者様の身体に傷やあざが無いかな観察、報告をしている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>外部評価にて、第三者からの視点で事業所をチェックして頂いたり、家族様や入居者様からの話を聞いた情報等について、職員間で共有し話し合っている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居前に所定の重要事項説明や契約書、看取りの指針等を説明し納得して頂いた上で契約頂き入居されている。又、入居後も本人様や家族様に話を伺い不安を取り除くよう努めている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>日常の申し送りで、入居者様からの話を他の職員に伝えたり、ご家族が面会に来られた時や電話等でも意見や要望を聞き、反映させている。</p>	<p>面会時間は特に設けておらず、日常的に家族の出入りは多い。家族からの意見・要望等は、来所時にその都度職員が聞き、来所が難しい家族にはメールや電話等で意見を求めながら、運営に反映されるよう努力している。</p>	

自己評価外部評価状況

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	管理者は代表者と毎日メールで報告、指示をうけている。朝、夕の申し送り時、職員からの提案や意見を聞き、反映させている。	職員は、日々のケアを行う中で、例えばテーブルを囲んで食事をする事が困難な利用者への対応や、リクレーションに必要なもの等、意見や提案を行い、管理者はリクレーションの有り方を含め、改善に向けて意見の反映に応える体制がある。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	自己評価シートを使い、管理者が職員、個々の実績や努力を把握するよう努めている。又、お互いに話ができるような関係を築いている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	新人が入社すると、担当者をつけ、業務内容を教えたり、話を聞くようにしている。又、管理者、職員を段階に応じて研修を受ける機会を与えたり、事業所での勉強会を行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	グループホーム協会の講習の案内を掲示し、受講を勧めている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居前に本人の情報をまとめ、職員で共有し、入居後の対応について話し合うことで、本人との信頼関係を早く築けるよう努力している。		

自己評価外部評価状況

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>入居前までに、情報提供を出来るだけして頂き、職員間で今後の対応について話し合い、入居後もスムーズに関わり、信頼関係を早く築けるよう工夫している。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>入居希望の相談の段階で、本人や家族が困っている事や、思いを伺い、サービス利用等が必要であれば、お話させて頂いている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>職員も利用者様と一緒に食事をし、いろいろな事に共感できる時間を作るようにしている。又、日常の洗濯物たたみや食事準備など一緒に行い、暮らしをともにする関係を築いている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>利用者様に変化や気付きがあれば、随時、ご家族に連絡、相談行い、ご家族、職員双方で、共に支えて行く関係作りに努めている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>ご本人様やご家族に情報を聞き、大切に思っている事や人、場所との関係が途切れないよう、外泊支援等行っている。</p>	<p>隣の幼稚園の送り迎え時に、父兄と顔見知りになったり、毎日の散歩時に挨拶したりして、馴染みになっている。又、以前入所していた利用者の家族や知人が事業所に訪れる等して、途切れない関係が築かれている。</p>	

自己評価外部評価状況

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者同士の関係を把握し、円滑な関係になるよう職員が橋渡しの役目をし、支え合えるよう支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	サービス終了後も相談やアドバイスなど、必要な支援を行っている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	普段の発言や言動を把握したり、本人に直接、話を聞いたりし、希望に沿えるよう努力している。	日常の会話の中で、利用者の希望をくみ取り、支援につながるよう努めている。利用者の誕生日等に希望に沿う様にしたり、希望する内容が困難な場合には、代替案を職員が検討し、出来るだけ希望に沿うよう努力している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前に家族や本人に話を聞いたり、利用前の施設に情報提供を頂き、把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	毎日のバイタル測定、食事量、言動を記録し、日々の心身状態に努めている。		

自己評価外部評価状況

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ご本人、ご家族、必要な関係者から話を聞き、アセスメントを行い、ケアプランを作成している。</p>	<p>利用者及び家族から相談や希望を聞き取り、ケアマネージャーと担当者がモニタリングを行い、必要な関係者と共にアセスメントを行い、介護計画を立てている。また、家族の意見を担当者に伝え計画に反映させている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日常の記録等を基に申し送りを行い、情報を共有している。必要に応じ、ご家族に記録を公開し、話を聞き、介護計画の見直しに生かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>ご本人やご家族の希望に沿うよう、職員間で情報共有し、柔軟なサービスやサービスの細分化が必要なら、管理者等に随時、報告、相談を行って対応している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>毎日の散歩で、地域の方と顔見知りになり、声を掛けられたり事業所に来られたり、畑で収穫した野菜を頂いたりしている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>週2回の主治医の往診を活用し、適切な医療を受けられるよう努め、必要に応じでは、かかりつけ医で受診している。</p>	<p>全ての利用者は、事業所の協力医療機関がかかりつけ医で、週2回、往診の内科を始め、歯科、眼科の往診も受けている。更に、訪問看護や薬剤師の訪問を受ける等、支援している。又、協力医以外で診療が必要な場合、迅速かつ適切に、該当する医療機関で受診を行っている。</p>	

自己評価外部評価状況

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	週2回の訪問看護の時に、個々の入居者様の状況を伝え、適切な看護を受けられるよう、支援し、医療記録に残している。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入所者のこれまでの入院病院とは、常に情報交換をしている。緊急時の搬送など、受け入れを確認している。また、途中の入院時には、退院に向けて常に状態を把握し、ご家族や入所者が退院、再入居できるように努めている。また、医療行為が必要な場合は、他の病院の紹介なども行っている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	入所する時点で、重度化への指針や緊急時の体制などについて、入念にお話させていただいている。入所後、状態が悪くなっていく場合は、かかりつけ医・看護師・管理者とご家族で今後の重篤時の対処などについて話し合いを行い、承諾書等も頂いている。	家族には、利用開始時に詳しく説明を行い、同意を得る体制がある。職員は、マニュアルを確認したり、緩和ケアに精通した看護師を講師に迎えて研修を受けながら、家族と共に、チームで支援する取り組みが出来るよう努力している。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	マニュアルを作成し、定期的に訓練や勉強会を行っている。		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	避難訓練を定期的実施し、緊急時に対応できるよう努めている。1階は出入口が4ヶ所あるので、出火場所を想定した避難訓練を行っている。	利用者と共に避難訓練を実施している。事業所は災害対策には特に力を入れている。地域住民も防災の意識が高く、災害対策に関して話し合いの機会を設ける等、積極的に取り組んでいる。自治会とは災害協力を行う関係があり、求めるだけでなく、何が出来るかも考えている。	

自己評価外部評価状況

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	その人のペースに合わせ、声掛けや対応を職員間で注意して行うよう心掛けている。	職員は理念のゆたかりを大切に、その人に合った声のトーンや（かん高い声は出さず）ゆっくり話すよう心掛けたり、慣れ合いの言葉を使わないよう気を付けて支援している。更には、その人の生活歴を知る事で、人格を把握することにも努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	入居者様に対し、必要な事柄にはご本人に問いかけを行い、選択して頂くようにしている。選択が難しい様なら、同意を得て、職員が支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	生活リズムは崩さないようにし、その日、その時の入居者様の状況を見て、ご本人が過ごしたい様に、話を聞いたり、声掛け行い支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	毎月、訪問理美容に来て頂き支援している。又、毎日の更衣時には、ご本人様と相談し、服選び等で好きな服を着て戴くようにしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	野菜、果物の皮むきなど、出来る範囲で準備等を手伝って頂いている。食事は職員も一緒に食べ、入居者様と談話し、楽しい時間を提供できるよう努めている。	2人の調理担当職員が、2ユニット分の食事を作っている。日常の食事の他に、季節にはお花見弁当を楽しんだり、食事リレーションでお好み焼きを作り、又バイキング料理に出掛けるなど、食事を楽しめるような支援に努めている。	日常の食事を楽しむ中で、手作りや、栄養面にも気遣いが有るが、テーブルやイスの高さが一部の利用者に合っていない為、工夫が必要と感じた。楽しく食事をする為に、更なる食事の環境改善にも期待したい。

自己評価外部評価状況

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。	水分、食事は毎食、記録を行い、1日に必要な水分量の確保に強めている。栄養バランスを考えた献立を提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後、口腔ケアを行っている。ご自分でできない方は、職員が支援をしている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄票に日々記入し、排泄の状況を分析し、トイレ誘導を行い、トイレでの排泄の支援をしている。	現在ポータブルトイレを使用している利用者はいない。職員は利用者一人ひとりの排泄パターンを把握し、排便をスムーズにする為、命のスープ（手作りスープ）を飲んでもらう等、工夫し、チームで取り組んでいる。全てのトイレにはファンレストテーブルを設置し、自立に向けた支援に取り組んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。	排泄票を作成し、排便状況を把握して、主治医、看護師と相談したり、水分の確保に努め、排便がスムーズになるよう取り組んでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。	週2回（夏場は3回）の入浴を行っている。その日の体調・或いは入浴の拒否がある場合には無理をせず、ご本人の意思を尊重し、日を変えて入浴をしていただくよう対応している。	利用者一人ひとりの希望に応じ、同性介助に配慮している。寒い時期にはゆずの身や皮は料理で、沢山の種はペクチンが多く、肌に良く香りも良い為、入浴剤として楽しんでいる。入浴が困難な方には無理強いせず、タイミングを伺いながら、ご本人の希望される日に入浴していただくよう柔軟な対応をしている。	

自己評価外部評価状況

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	一人一人の体調等を把握し、生活のリズムを崩さない様につけながら、夜間も定期的に巡回し、休息、安眠が図れるように努めている。		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	薬剤師と相談し、服薬支援を行っている。個人ファイルに内服薬の情報を保管し、全職員にも副作用や用法等が分かるようにしている。		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	家事、食事を一緒に行う他、散歩等、気分転換を図っている。出来る範囲で、個々の嗜好品や楽しみ事など支援している。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	基本的に、毎日、散歩に出掛けるように支援している。ご家族とも連携し、体調不良時以外は、希望があれば外出できるよう支援している。	天気のよい日は、近所に散歩に出掛け、途中で隣の園児達と交流し喜ばれている。希望があれば買い物や、馴染みの美容院に出掛け、ドライブでみくまり峡のお祭りや、森林公園に行く等、楽しい外出が出来るよう支援している。	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	入所時に、金銭管理の説明をご家族を交えて行っている。金銭管理規定に沿って、金庫での預かりと支出記録を行い、毎月の請求時等にはその報告を行っている。ご希望により、現金が必要な時には職員立会いで、買い物や飲食などをして頂いている。		

自己評価外部評価状況

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	電話の取り扱いについては、入所時にご家族と話し合いを行っている。必要な利用者は携帯電話を所持されている。手紙の受発信は原則自由ですが、ご家族のご意向に沿った相手先に限定している。事前に開封などは行っていない。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	季節を感じられる飾り付けや植物の設置をし、季節感を取り入れている。入居者様の動線に障害になるものが無いように配慮している。	職員は、共同生活の環境作りに気を使い、特に清潔に保つことには気配りをしている。リビングは大きな窓から光が入り心地よい。午後は、1階利用者は皆でテレビや居眠りが心地よく、2階利用者は其々居室に帰り、しばらく一人を楽しみ、又集まる等の上手な共同空間を作っている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	リビングにソファを設置し、誰でも自由にくつろげる様にし、思い々に過ごせる空間の提供を行っている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居室には手作りのネームプレートを付け、分かり易いようにしている。ご家族、ご本人様と相談し、好みの物などを置き、居心地の良い空間作りに努めている。	居室の入り口は、ネームプレートで確認が困難な利用者には、張り紙で分かりやすくしている。利用開始時に本人が希望すれば、荷物が多くても持ち込んでもらっている。居室内には家族の来所時に、職員が写した写真が飾ってあり、又全ての部屋の窓にはレースのカーテンがお洒落に飾られている。	
55		○一人ひとりの方を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	各所に手摺りを設置したり、車椅子、自立、両方の方に対応できるトイレを設置したり、安全かつ自立した生活ができるよう工夫している。		

Vアウトカム項目温品			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームなでしこ温品

作成日 平成29年3月23日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	40	食事を楽しむ	座位の姿勢	利用者様に合ったテーブルの高さの調整	6か月
2	36	人格の理解と尊重	生活歴を知る	アルバムの作成	6か月
3	4	運営推進会議の活用	出席者を増やす	家族様に議事録を提出	2か月
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には, 自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は, 行を追加すること。